

工トA80

目書発川吉 (十)

久米幹文夫人編輯

日本文集

和装全三冊
定價金七十三錢
郵税八錢

我が國の神代より皇統連綿として東洋に獨立せる帝國をれば風俗
言語を特別として文章の尤他國の文に似せし一極の精神光彩あ
りて漢文洋文の及ぶべきはあらずともこれを知る人まれしは
文集といふべきものも少し偶々軌範めくものあれども長き文を
切ぬきたるものもあれば首尾の照應なく殊に玉石入り交りて
足るものも少し久米夫人の選集を編輯してこの文の中興の
いなる契沖阿蘭梨の加茂翁を始として今の名たる先生東の各
文をもあつめて其辭をぬきたれば法則の正しきのみか精神光彩
照應被爾具りてまことに神代文と申へし今より我國の文章を
學べんとする人これをおきて何にか法を取らんとする既三
巻刻成りければ試み御覽あらまほしく候なり

大澤清臣先生校輯并註

皇朝紀事文集

和装本版金三冊
上卷正價金二十二錢
中卷正價金二十二錢
下卷正價金二十二錢

本書の先生みづから諸言例言に述べられたる如く國文を背き習
いん諸君の爲に多年校合せられたる假字文の書十冊の中より記
事體の模範とせるべきものあり三十條を選抄し撰註と訂正し註
釋を加へられたるものあり今本書を校閱するに文辭の微妙なる
い筆墨の佳調を聞くは如く註釋の明瞭なるに版面の照影を見る
如くよして精細な至れり意を盡くせり諸君採して能く本書を執
りて熟讀味せしむるに國文を讀み語法を知るもの未だこの
由あるに至らんこと必せり我書を讀むこと年久しきも未だこの
とき完全の文章を見るに實に國文教科書の冠たるものあり

福羽美辭夫人序 三浦千春先生校訂

伊勢物語讀本

洋装全一冊
定價金八錢
郵税金二錢

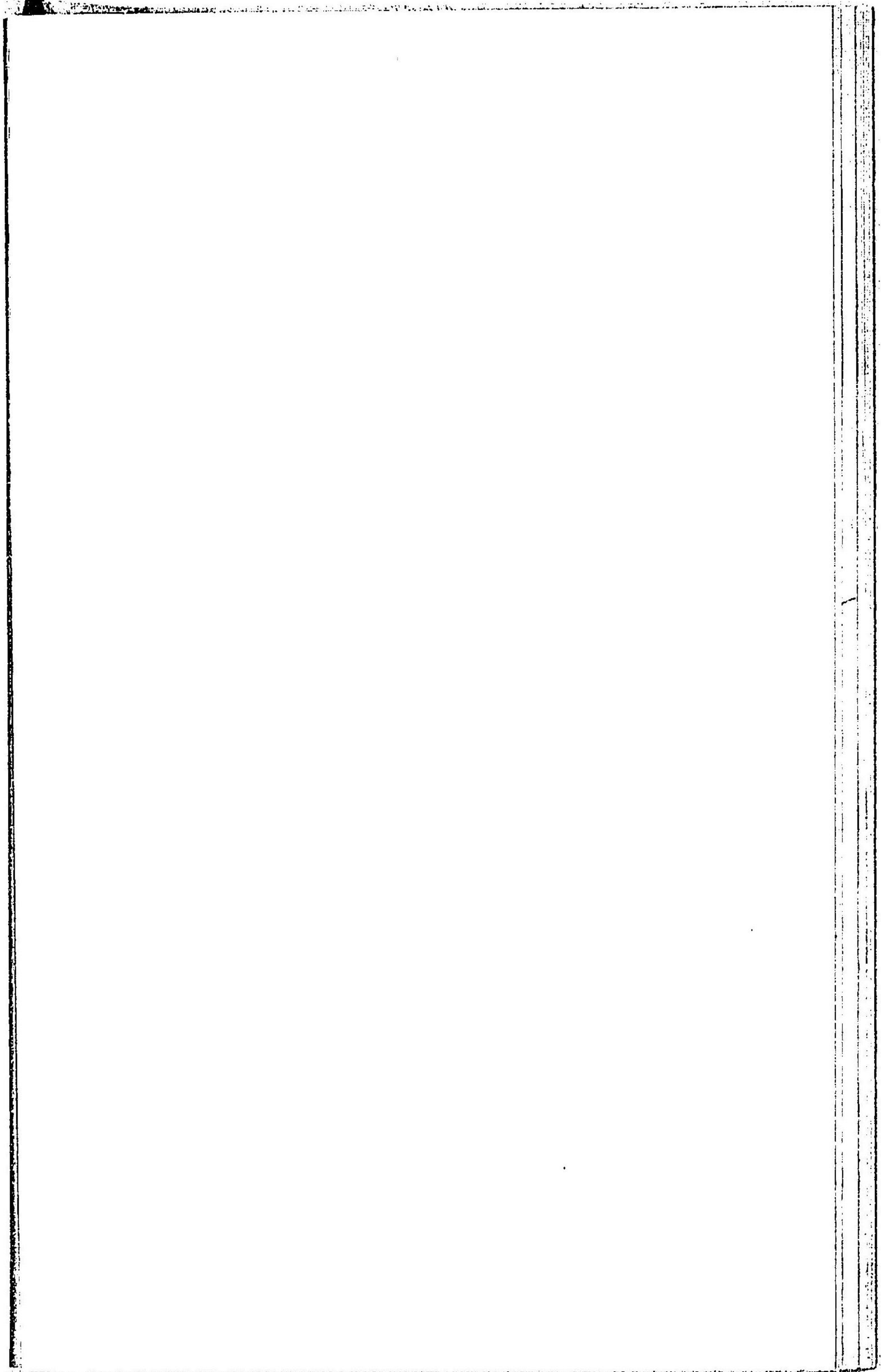
古來物語書の種類多しといへども文章の簡雅巧妙なる伊勢物語
のことときい古其比を見ざる所あり其の興の時際し何れの學校
いふ説信をへし然るに方今國文學の興る時際し何れの學校
もいふだ此物語を教科書中採用する事なきいかにいふ
世俗伊勢源氏などいへば一統好色の事なきいかにいふ
勢物語の決して好色の談に非ざる事なきいかにいふ
純して時世のありさまを背き給らぬいかにいふ
其志を洩されたるものありこれ其の作りの物語として
を想像するに足りぬいかにいふ
校の教科書にせんの目的はいて、物語中の好色は其の
を訪らひ漢末の母公の有名なる東下りの記事を始め雪の中
ぐひ有益の語を撰び載せ且數本を參考して綿密に校訂を加へた
れは獨り文章の軌範とせるのみならず忠孝の教訓も成ぬ
此伊勢物語の讀本を今般帶備し於てこれを刊行し世に公
するを得たり國文學の志ある諸君に於て一讀を給へ

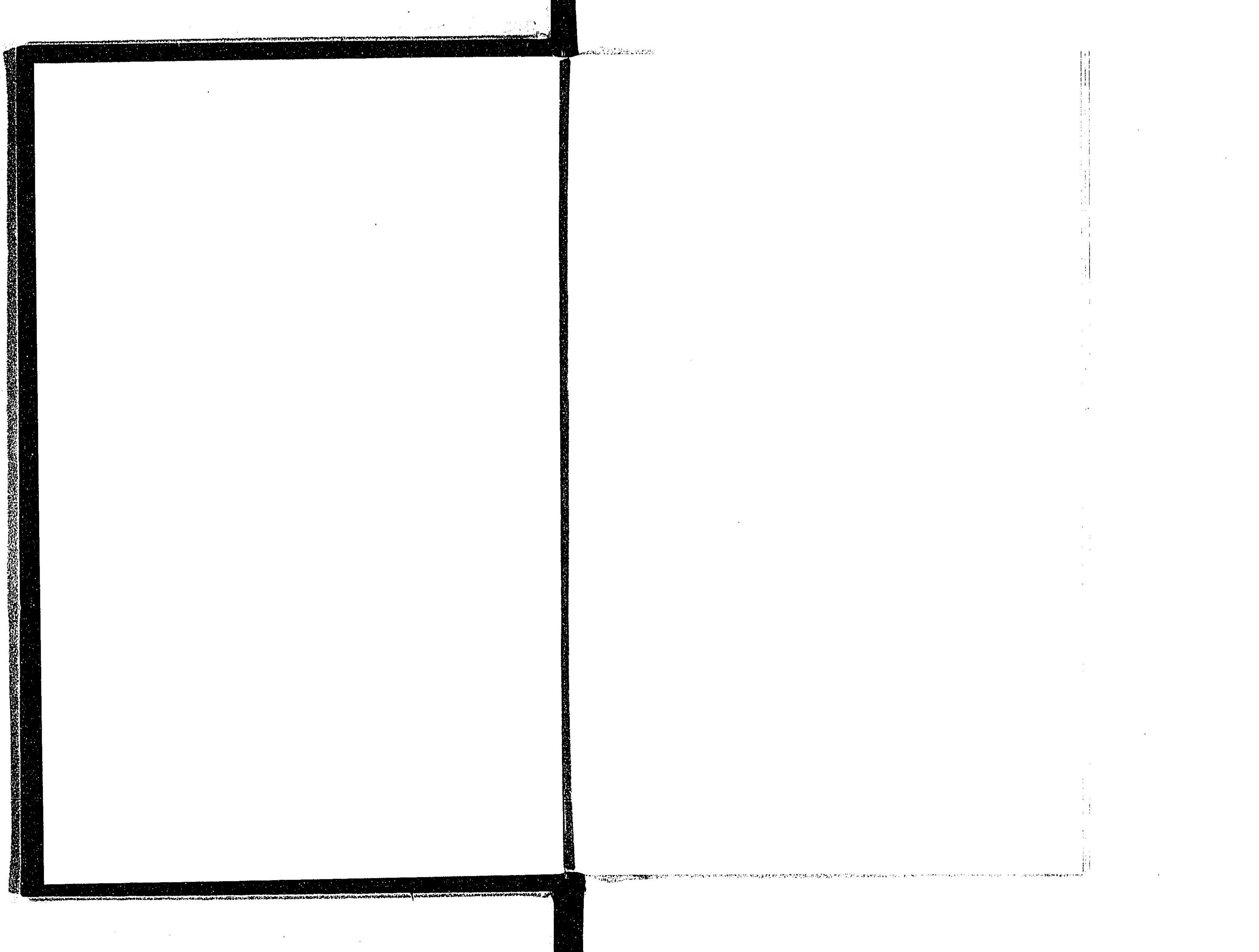
關根正直先生校開 武田信賢先生註

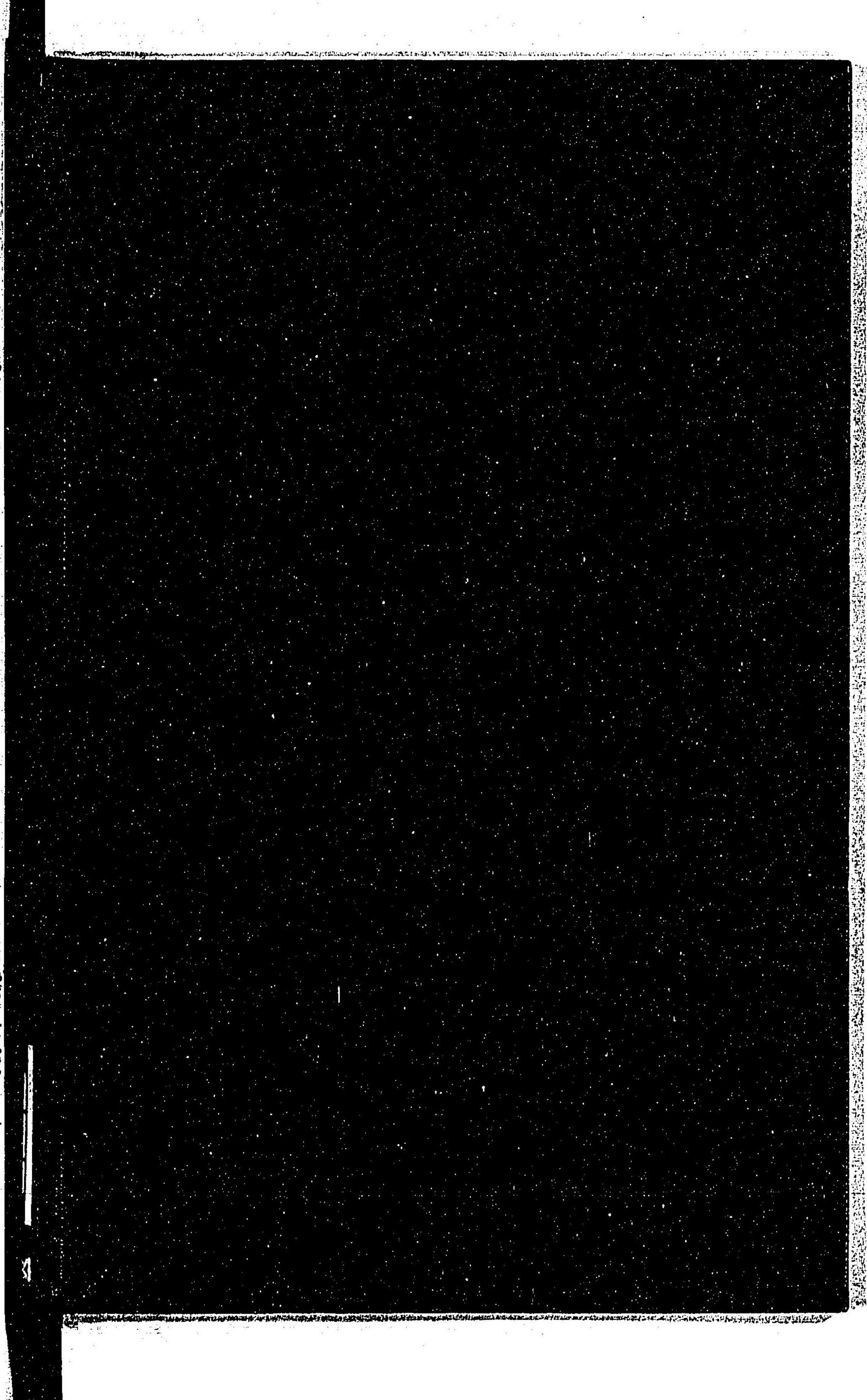
新註方丈記

洋装全一冊
定價金六錢
郵税金二錢

此書の鎌倉時代の文學家長明系門の著する筆勢雄強にして高
古の道ざりて俗に似かたむ尤も當今作文の模範とするに足る故
に註釋を加へて普く獨修者の便に資す願くは一本を購讀し此
書の真相と校正註釋の親切なるを知り給へ







914.5
H997
I

